



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月13日

上場会社名 ブルーイノベーション株式会社

上場取引所 東

コード番号 5597 URL <https://www.blue-i.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高執行役員 (氏名) 熊田 貴之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営管理本部管掌 (氏名) 井手 雄一郎 TEL 03-6801-8740

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の業績 (2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	343	28.0	△70	—	△68	—	△68	—
2024年12月期第1四半期	268	—	△116	—	△114	—	△115	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	△17.48	—
2024年12月期第1四半期	△29.34	—

(注) 1. 当社は、2023年12月期第1四半期において四半期財務諸表を作成していないため、2024年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2024年12月期第1四半期及び2025年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	1,215	564	46.5
2024年12月期	1,342	633	47.2

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 564百万円 2024年12月期 633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,513	23.7	△333	—	△331	—	△334	—	△84.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	3,939,051株	2024年12月期	3,939,051株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	一株	2024年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	3,939,051株	2024年12月期 1 Q	3,939,051株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社は、複数の自律移動ロボット（ドローンやAGV（※1）などを指す）を遠隔で制御し、統合管理するためのソフトウェアプラットフォーム（※2）である Blue Earth Platform®（BEP）を軸に、人が実施していた設備の点検などの業務を、ドローンやAGVで代替して実施することにより効率化や安全化、省力化を図ることを目的としたソリューションの提供を行っております。

BEPとは、センサモジュールとソフトウェア（アプリ、クラウド）で構成された当社開発の統合的なシステム上のプラットフォームのサービス総称です。顧客の課題に対応して、ドローンの機体とセンサ、並びにソフトウェア開発の適切な組み合わせを、BEPの環境下で開発した上でソリューションとして提供していることから、各ソリューション名に「BEP」の名称を冠しております。BEPの環境下で、顧客の要望に合わせて、ドローン等の自律移動ロボットの移動・遠隔制御・デバイスとの連携等の「動かす」こと、ドローン等の取得した情報の保存・連携・監視等の「集める」こと、ドローン等の運行管理・挙動の解析等の「管理する」ことを実現しております。

現在の当社は、点検、ポート、教育、ネクスト（新規ソリューション創造）の4つのソリューションを提供しております。特に足元では、社会課題として、インフラ高経年化による点検需要の増加が著しく、当社としてもドローン等による点検ソリューションが主要事業かつ成長事業との位置づけになっております。点検業界においては、人件費高騰に伴う点検コストの増加、一方で危険作業におけるノウハウの属人化や労働力不足が発生しているものと当社は認識しており、それに対して、当社はドローン等導入のソリューションを提供することで、業務の安全化、効率化、低コスト化の実現という価値を提供しております。

このような状況の中、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高343,304千円（前年同四半期比28.0%増）、営業損失70,601千円（前年同四半期は営業損失116,101千円）、経常損失68,189千円（前年同四半期は経常損失114,915千円）、四半期純損失68,864千円（前年同四半期は四半期純損失115,590千円）となりました。

なお、当社はドローン関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。当社の販売実績を4つのソリューション別「点検、ポート、教育、ネクスト」に区分した売上高の状況は次のとおりであります。

（単位：千円）

ソリューション区分	前第1四半期累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）	当第1四半期累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）
点 検	134,989	151,228
ポ ー ト	51,842	125,738
教 育	72,295	58,770
ネ ク ス ト	9,155	7,567
合 計	268,283	343,304

※2025年第1四半期より物流ソリューションをポートソリューションに名称変更しております。

・点検ソリューション

プラント点検のサービスにおいて、案件数、平均受注単価が向上したことにより売上高が増加したこと、送電線点検、巡回点検において、電力、鉄道業界を中心に検証案件等が増加したことにより、当第1四半期累計期間の売上高は151,228千円（前年同四半期比12.0%増）と前年同四半期と比べ16,238千円の上振れとなりました。

・ポートソリューション

長期戦略の観点で受託した「政府研究開発（SBIR※3）のドローンポートシステム開発」、「デジタルライフラインの先行実装に資する基盤に関する研究開発事業（ドローン航路）」等の複数の国プロ案件を受託できたこと、仙台市に3台目の津波避難広報ドローンシステム（BEPポート）を導入したこと等により、当第1四半期累計期間の売上高は125,738千円（前年同四半期比142.5%増）と前年同四半期と比べ73,895千円の上振れとなりました。

・教育ソリューション

基礎教育（BEPベーシック）において一部の受託業務の終了等により、当第1四半期累計期間の売上高は58,770千円（前年同四半期比18.7%減）と前年同四半期と比べ13,524千円の下振れとなりました。なお、利益率の低い案件の終了により、原価構成は改善され、売上総利益率は改善しております。

・ネクストソリューション

点検及びポートソリューションへ、優先的にリソースを投下するため、新規受注は控えるものの、機械・化学メーカー等に向けた新規ソリューションの検証案件を一部受託した結果、当第1四半期累計期間の売上高は7,567千円（前年同四半期比17.4%減）と前年同四半期と比べ1,588千円の下振れとなりました。

当社は、安定した売上成長の観点では累計取引企業数及びストック型売上（ドローン等のハードウェアのリースやBEPを軸としたソフトウェア、保守メンテナンス、運用サービスの継続利用等）の比率を高めることが重要であると考えております。

第1四半期末における累計取引企業数は、点検ソリューションのフロー型のサービスが増加したことに伴い、642社（前期末比70社増）となりました。

第1四半期累計期間におけるストック型売上は、92,597千円（前年同四半期比4.9%減）、ストック型の売上比率は27.0%（前年同四半期は36.3%）となりました。これは、基礎教育（BEPベーシック）において一部の受託業務が終了したこと等によりです。

- (※1) Automated Guided Vehicle の略称。産業用途で多く使用される自動運転車の一種で人間が運転操作を行わなくとも自動で走行できる搬送車。
- (※2) 自律移動ロボットを使ったソリューションや製品を開発する際に、使用できる基盤となる技術要素の組み合わせのことを意味する。ソリューションや商品の開発者が、自社ソリューションの提供価値を、自律移動ロボットを使って効率よく提供するために必要な一連の技術要素をパッケージ化したもの。
- (※3) Small Business Innovation Researchの略称。SBIR制度は、スタートアップ等による研究開発を促進し、その成果を円滑に社会実装し、それによって我が国のイノベーション創出を促進するための制度。今回のプロジェクトは、経済産業省が管理、執行するSBIR事業。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,101,805千円となり、前事業年度末に比べ133,853千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が132,727千円減少したことによるものであります。

固定資産は113,404千円となり、前事業年度末に比べ6,244千円増加いたしました。

この結果、総資産は1,215,210千円となり、前事業年度末に比べ127,608千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は197,137千円となり、前事業年度末に比べ53,791千円減少いたしました。これは主に買掛金が58,571千円減少したことによるものであります。

固定負債は453,590千円となり、前事業年度末に比べ4,953千円減少いたしました。これは主に長期借入金が5,235千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は650,727千円となり、前事業年度末に比べ58,744千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は564,482千円となり、前事業年度末に比べ68,864千円減少いたしました。これは四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が68,864千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.5%（前事業年度末は47.2%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想については、2025年2月13日の「2024年12月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	668,505	535,778
受取手形、売掛金及び契約資産	467,040	477,401
商品及び製品	47,416	61,025
仕掛品	2,813	492
原材料及び貯蔵品	1,422	2,259
その他	48,460	24,848
流動資産合計	1,235,658	1,101,805
固定資産		
有形固定資産	82,175	91,029
無形固定資産	7,410	5,178
投資その他の資産	17,573	17,196
固定資産合計	107,160	113,404
資産合計	1,342,818	1,215,210
負債の部		
流動負債		
買掛金	108,040	49,469
1年内返済予定の長期借入金	17,580	17,580
未払金	24,187	35,754
未払費用	58,311	40,985
未払法人税等	8,125	3,781
賞与引当金	8,960	8,563
その他	25,723	41,004
流動負債合計	250,929	197,137
固定負債		
長期借入金	456,500	451,265
その他	2,043	2,325
固定負債合計	458,543	453,590
負債合計	709,472	650,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	695,682	695,682
資本剰余金	631,654	631,654
利益剰余金	△693,989	△762,853
株主資本合計	633,346	564,482
純資産合計	633,346	564,482
負債純資産合計	1,342,818	1,215,210

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	268,283	343,304
売上原価	156,803	187,191
売上総利益	111,479	156,113
販売費及び一般管理費	227,580	226,714
営業損失(△)	△116,101	△70,601
営業外収益		
受取利息	3	360
保険金収入	2,757	1,869
その他	487	1,087
営業外収益合計	3,248	3,317
営業外費用		
支払利息	1,018	868
為替差損	994	—
その他	50	35
営業外費用合計	2,062	904
経常損失(△)	△114,915	△68,189
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前四半期純損失(△)	△114,915	△68,189
法人税、住民税及び事業税	675	675
法人税等合計	675	675
四半期純損失(△)	△115,590	△68,864

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社はドローン関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	10,286千円	11,287千円